

第24回 全国消防救助技術大会





“燃えろ！レスキュー’95”

1995. 8. 25 北九州市文化記念公園



「九五年 夏!!『燃えろ！レスキュー’95』をスロ―ガンに、第二回全国消防救助技術大会（主催：全国消防協会、後援：自治省消防庁、全国消防協会、財団法人船舶振興会）は去る八月二十五日、ルネッサンス通り「HOTする街：北九州」において盛大に挙行された。

この大会は、全国の救助隊員が日頃鍛磨した高度な知識や救助技術を相互に交換し、研鑽する場として昭和四十七年から毎年開催しているものである。大会の会場となった北九州市は、地方自治史上で例をみない五市（門司・小倉・若松・八幡・戸畑）の対等合併により、九州で初めて誕生した政令指定都市であり、九州の最北端に位置し関門海峡を挟んで本州と九州を結ぶ陸海交通の要衝として古くから栄えてきたところである。現在は、「緑とウォーターフロントを生かした快適居住都市」を始めとする五つの都市像を目指す「北九州市ルネッサンス構想」を策定し「二一世紀を目標に、都市の再生」への取り組みを始めている「HOTする都市」である。

大会のメイン会場となった文化記念公園は、早朝より大勢の消防関係者や一般市民が詰めかけ、開会式を目前に緊張と興奮、熱気に溢れていた。

定刻、九時〇〇分、気温三三度（訓練会場）観覧台に大会会長登壇、約四、五〇〇人が見守る中、会場を囲む三方の山麓に高らかにファンファーレが鳴り響き、いよいよ入場行進である。

北九州市消防音楽隊が奏でるファンファーレ・アランド・マーチ「ルネッサンス」にのって、四人の消防職員に掲げられた大会旗を先頭に訓練役員、全国九地区支部を代表する九三九人の精鋭隊員、最後に全国四〇消防本部五〇一人の登録隊員を代表する国際消防救助隊旗が、日頃の訓練で日焼けした精悍なマスクと、自信と誇りを胸に一糸乱れぬ行進に会場からは割れんばかりの拍手が沸いた。

開会式は、大会運営委員長である馬場北九州市消防局長が声高らかに開会を宣言した。

全国消防職員御霊の御霊に対し黙禱を捧げ、国旗及び大会旗を掲揚後、小宮会長、末吉北九州市長のあいさつ、消防庁長官（代理：次郎丸消防研究所長）福岡県知事（代理：斎藤副知事）井上北九州市議会議長の祝辞、深谷隆司自治大臣をはじめ多くの方々からの祝電披露と続き、大会審判長である北九州市消防局長の審判長指示後、北九州市消防局、山本隊員が力強く隊員宣誓を行なった。

訓練開始前の一時、会場上空に広島、北九州市の消防ヘリが飛来し本大会を祝うなか、地上では消防局音楽隊とカッパガード隊「Kキューティーズ」が一体となつてのフィールド・ドリルが披露された。

いよいよ陸上会場と水上会場で訓練開始である。灼熱の太陽が燦々と照り付ける会場内に隊員の緊張と鼓動が響く。なかで、隊員達は安全確保・迅速を胸に日頃鍛磨した技術を十分に発揮させながら訓練は予定どおり進んだ。延々五時間余りに及ぶ訓練が終るなか、会場内の随所で、隊員達が再会を喜び、また新しい友情に再会を誓いながら、意見・技術交換をしている姿に、全国大会は各地の隊員が一堂に会する唯一の場であることを強く感じた。



訓練終了後、すべての技術と体力を出し切り充実感と満足感が漂う隊員達を称えて、消防局音楽隊と「Kキューティーズ」が特別演技を披露した。演技のクライマックスではキューティーズが「タンチョウ」を会場内に乱舞させ、北の大地に向けてエールを送ると、会場からはひと際大きな拍手が送られた。

閉会式では、会長から「規律厳正・士気旺盛、救助に必要な安全確保、迅速を守って素晴らしい訓練が披露された。感動を与える訓練にご苦労様。今後とも救助技術を錬磨し、住民の付託にこたえられるよう、がんばっていただきたい。」との講評があった。国旗降納に続いて大会旗が北九州市消防局長から次回開催の札幌市消防局長（代理：札幌市消防局・近江次長）に手渡され、堅い握手が交された。

北九州市消防局長が閉会を宣言し、訓練塔に「来年札幌市で会いましょう」の垂れ幕が掲げられ、第一回大会の幕は閉じられた。

本大会の運営に当たられました北九州市消防局に対し衷心より感謝申し上げます。



あいさつ
(財)全国消防協会
会長 小宮 多喜次

はじめに、一言申し上げます。
本大会の開催当初から、尽力をいただいた当協会の笹川良一名譽会長が先月、逝去されました。ここに皆様と共に慎んで、冥福をお祈りしたいと存じます。
それでは、あいさつを申し上げます。

本日、ここに第二十四回全国消防救助技術大会を開催するにあたり、消防庁長官殿、福岡県知事殿、北九州市市長殿をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、かくも盛大に開催できますことを心から厚くお礼申し上げます。

この大会は、救助技術の錬磨向上と強靱な体力と精神力を養うことなどを目的に、昭和四十七年以降毎年実施しているものであります。未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災においては、全国の隊員諸君の献身的な救助活動により、多くの人々を救出することが

できました。これは消防の救助技術及び能力の高さを示すものであり、不眠不休の活動に当たった隊員諸君に対し、改めて敬意と感謝の意を表するとともに、被災地の一日も早い復興を心より願うものであります。

本年は地震や豪雨等による自然災害が跡を絶たず、更には、有毒ガスの発生事故など、各種災害の態様は、ますます複雑多様に変化しており、我々消防機関には、より高度で迅速な対応が求められているところであります。

全国各地支部から選抜された本大会に参加された隊員諸君は、こつした実情を十分認識し、実践的な訓練と研鑽を積み重ね、あらゆる災害に即応できる能力及び技術の習得に一層努められるよう切望するものであります。

本日は、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、所期の目的が達成されることを期待しております。
終りになりましたが、本大会の開催にあたり、特段のご高配を賜りました北九州市、当局並びに北九州市消防局の皆様、心からお礼申し上げますとともに、ご列席の皆様、ますますのご健勝を祈念いたします。あいさつといたします。



祝 辞
福岡県知事（代理）
斉藤恒孝副知事



祝 辞
消防庁長官（代理）
次郎丸誠男消防研究所長



あいさつ
北九州市長
末吉興一



開会宣言・審判長指示
北九州市消防局長
馬場宗一郎



祝 辞
北九州市議会議長
井上勝二

陸上の部

ロープブリッジ渡過(個人)

水平に展開した渡過ロープに
メートルを、往路はセーラー渡過、
復路はモンキー渡過する。



表彰者

北海道	北留	北川	上川	上川	東北	二戸	村山	村山	新潟	小千	関東	大宮	所沢	所沢	市川	市川	船橋
山田	南	南	南	南	地区	地区	市	市	市	谷	市	市	市	市	市	市	市
城	城	城	城	城	城	城	市	市	市	域	市	市	市	市	市	市	市
(行組)	(行組)	(行組)	(行組)	(行組)	(行組)	(行組)	(事)	(事)	(事)	(事)	(事)	(事)	(事)	(事)	(事)	(事)	(事)
坂本	齊藤	岸	加藤	松田	奥山	繁勝	笹原	宏文	徳長	関	鈴木	竹内	近藤	日高	村田	小林	篠田
一茂	秀典	敬泰	路草	芳紀	宏文	尚行	洋一	誠一	光男	隆正	義弘	浩二	義弘	浩二	義弘	浩二	義弘

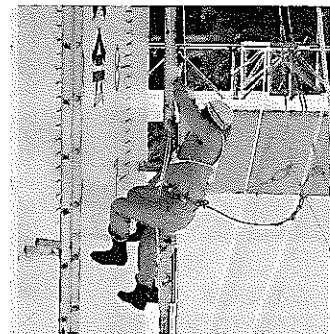
安房郡市広域市町村圏(事)

横須賀	横須賀	逗子	逗子	東海	知多	知多	新	松	東	金	日	日	近	大	大	大	東	中	賀	高	徳	九	八	八	伊	八	阿
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)
平島	佐藤	杉森	福岡	熊坂	榎原	日比野	野澤	道明	喜多	村田	太田	喜多	村田	船寄	和博	浩史	典之	松井	中本	古田	河野	博幸	弘樹	近藤	太一	井	重男
義治	信秀	明雄	隆二	陽一	秀樹	敬司	佳史	幸	信博	伸弘	佳幸	信博	伸弘	和博	浩史	典之	典之	典之	正孝	安伸	博幸	弘樹	太一	井	重男	井	重男

ロープ登はん(個人)

垂下されたロープを、手だけを
使って十五メートル登はんする。

壁面を蹴ったり、足にロープを巻
きつけることなく、登はんしなけ
ればならない。



表彰者

東北	南	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北
渡	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島
(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)	(消事)
秋葉	和嘉	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継	美継

はしご登はん(個人)

自己確保の命綱を結策後、十五
メートルの垂面のはしごを登はん
する。災害建物への進入など、消
防活動に欠かせない技術。



表彰者

北海道	西	千	東北	仙
胆	幌	歳	戸	台
(消組)	(消組)	(消組)	(消組)	(消組)
中野	植松	西村	下斗米	渡邊
良	雅史	和将	欣也	義樹

陸上の部

黒川地域(行事)	高橋 貞
白根地区	野内 友晴
関東	
伊勢崎佐波広城市町村圏	大谷 肇
振興整備(組)	細谷 茂樹
鹿島南部地区(消事)	石川 和義
大宮市	松本 茂夫
庄和町	野原 富士夫
宮代町	鈴木 清士
市川市(局)	高橋 秀樹
横濱市(局)	阿部 恒男
川崎市(局)	浅野 一宏
大和市	名取 満
飯田広域市	安藤 博行
浜北市	鈴木 恒律
東海	
豊橋市	河合 昭雄
岡崎市	土屋 昌彦
常滑市	新美 公克
尾三市	前田 智裕
東近畿	
京都市(局)	吉村 経樹
吉野広域(行組)	村中 健司
吉野広域(行組)	松本 唯嗣
近畿	
大阪狭山市(局)	納谷 雅之
大阪狭山市	渡邊 泰司
美原町	中谷 一義
美方広域(消事)	松田 光央
中国	
中部広域行政管理(組)	岩本 公之
防府市	末富 悟
四国	
大川広域(行組)	長町 能仁
三好郡(行組)	上西 弘泰
九州	
北九州市(局)	梅津 圭史
粕屋北部	井手 康和

杵藤地区広城市町村圏(組)
古野 隆則
八代広域(行事) 谷口 研朗

ほふく救出(団体)

三人一組(要救助者を含む)で、一人が空気呼吸器を着装してハットルの煙道を探索し、要救助者を屋外に救出、二人で協力して要救助者を搬送する。ビルや地下街で煙にまかれた人を救助する基本的な訓練。



表彰者

北海道
滝川地区広域(消事) 古木 久資

磯石 和宏

東北

最上広城市町村圏(事)

早坂 敏

鈴木 藤治

高橋 広行

和光 周一

伊達地方(消組)

鈴木 芳美

鈴木 一弘

関東
佐原市外五町(消組)

野田市

東京消防庁

伊勢原市

南足利市

東海
一宮市

海部東部(消組)

東近畿
京都市(局)

京都市(局)

京都

近畿
大阪市(局)

豊中市

姫路市(局)

香取 忠幸

柏崎 初政

竹藪 俊隆

齊藤 誠

米倉 一隆

鈴木 淳義

村山 正徳

菊名 宏之

本田 達也

小林 憲素

中村 操

相原 康一

佐野 匡一

池上 浩行

高橋 忍

熊沢 幾也

春日井 清

渡辺 敏

篠田 秀和

青山 致晴

関 克久

小谷 義信

坂本 正継

野崎 健

石川 一廣

山口 陽弘

吉岡 直樹

前田 喜治

新垣 浩

大本 浩

岩本 直樹

菅 匡悟

中村 道廣

丹羽 浩二

柴原 秀晃

藤井 千法

中国
岩国地区(消組)

柳川 和洋

上村 信行

塩田 修久

阿
南(消組)

松田 英治

町田 昌明

北九州(局)

前田 賢治

小野 重喜

園田 雄彦

品川 康彦

本田 豊章

日永田 重年

工藤 忠孝

佐藤 清二



ロープ応用登はん(団体)

登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。

陸上の部

表彰者

北海道	札幌市(局)	本間 義典
網走地区(消組)	荒木 雄司	
東北	川原 祐司	
南陽市	青木 信徳	
川西町	阿部 和博	
相馬地方広域	小林 寿昭	
関東	齊藤 秀有	
久喜地区(消組)	横山 義幸	
日高市	岡野 秀明	
佐倉市八街市酒々井町(組)	鈴木 正明	
山武郡市広域(行組)	新井 靖	
旭市外三町(消組)	吉川 浩史	
東京消防庁	平田 裕	
厚木市	石橋 浩二	
座間市	戸田 幸雄	
東海	高野 英和	
瀬戸市	伊東 秀貴	
知多南部(消組)	越川 行弘	
大岩 秀幸	八文字 博之	
東近畿	小川 透	
松任石川広域(事)	高橋 淳	
伊都(消組)	多田 弘一	
	吉川 正剛	
	有山 博幸	
	小武 力	
	川橋 泰三	
	山本 勇	
	篠田 肇	
	山岸 誠	
	久保 博史	

表彰者

近畿																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

斜めブリッジ救助(団体)

五人一組(要救助者を含む)で、三連はしごを活用して高さ七メートルの塔上に進入し、ロープで斜めブリッジ線を展開、要救助者を救出し、脱出する。高所から迅速に要救助者を確保、救出するため、必要不可欠な訓練であり、最も新しい訓練種目。

表彰者



函館市	荒谷 勇二
	前田 宏二
札幌市(局)	小林 尚彦
	渡会 克行
	木村 悟
	中村 裕樹
	小川 忠司
	十河 敏明
	中林 剛
東北	鈴木 洋介
仙台市(局)	千坂 孝哉
	伊香 修司
	小林 邦彦
	村上 瑞吉
	及川 裕己
新発田地域広域(事)	高橋 道夫
	高橋 広基
	笠原 正幸
	高橋 孝美
	中野 高志
関東	柳田 英男
筑南地方広域(行事)	太田 義春
	青木 節
	加藤 祐二

所沢市

入間東部地区(消組)

成田市

東京消防庁

東京消防庁

横浜市(局)

東海

小牧市

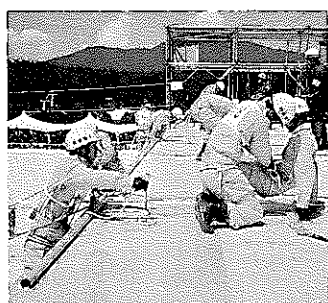
関 日出男	高見 真二	片岡 治	鳥海 武	北田 儀明	岩崎 邦明	古谷 省一	池長 久夫	金子 一幸	深野 高弘	上田 大寿	青野 正稔	鶴沢 正明	飯嶋 等	山本 宜和	小川 昭人	武井 智之	古館 修	阿部 勇人	伊藤 光博	滝澤 邦夫	水越 洋之	福島 等	税所 光昭	倉本 秀幸	高野 雅一	小川 勝二	熊谷 徹	柴田 健治	永井 敏弘	境野 敏弘	藤村 克巳	水野 正広	松田 典央	本田 修吾	稲田 修一	吉川 正彦	藤田 雄一	渡辺 晃
-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------

陸上の部

東近畿	京 都	近畿	大 阪	豊 中	中国	広 島	賀茂広域(行組)	四国	幡多中央(消組)
金 沢 市	京 都 市(局)	大 阪 市(局)	豊 中 市		広 島 市(局)				
恒川 雅光 大脇 照弘	西田 和彦 大瀬 泰志 藤江 哲 笹木 真司 高澤 裕之 上阪 知史 荒木 寛人 杉若 正紀 喜多 光晴 中村 暢数	萩原 一実 小坂 佳史 勝木 秀治 北田 真一 藤本 好章 中山 好正 矢森 弘久 小泉 弘洋 奥田 好人	藤原 英二 松田 和将 坂田 博文 岡田 巧 田中 良則 河名 英樹 川野 勝也 入川 誠 西永 剛 谷本 剛	上岡 克也 島谷 英正 岡上 晋二 上岡 利至					

ロープブリッジ救出(団体)

四人一組(要救助者を含む)で、二人が設定された渡過ロープにより対面する塔上に進入し、要救助者を救出。ロープをけん引して救出後脱出する。ピルなど逃げ遅れた人々を隣のパイルからロープを展張して救出することを想定した訓練。



表彰者

北海道
函館市
大山 泰工
山田 洋之

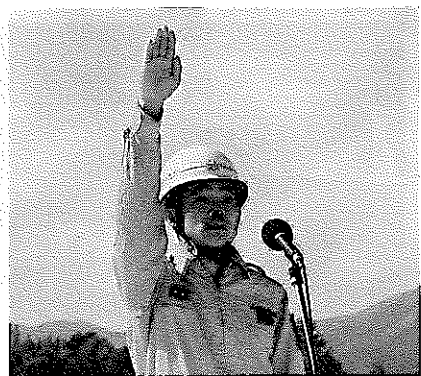
九州
北九州市(局)
宮地 由知
成崎 智秋
本田 辰生
井藤 孝光
山本 頼
岡部 正輝
安楽 成久
大平 健二
追田 耕平
中馬 貴宏
山内 浩樹

旭川市	東北 村山市	仙台市(局)	白河地方広域市町村圏	伊達地方(消組)	関東 所沢市	桶川市	市川市(局)	船橋市(局)
布川 宏二 花田 英樹 加藤 真二 飛騨野 聡 串 知宏 狩野 陽	深瀬 茂 安達 健治 高橋 史直 松田 雄大 櫻井 純一 若生 昌年 熊坂 武 飯塚 佳樹 白岩 陽一 星 栄 齊藤 寛人 穂積 清 菅野 恒男 野田 幸造 佐藤 弘二 菅野 清人	長谷川 勇二 金井 厚志 並木 昭憲 福島 明 高橋 俊博 寺田 一浩 坂巻 泰弘 矢萩 雅彦 山下 一成 山崎 宏 越川 茂実 石橋 晴男 小形 義昭 小形 敬吾 柴田 敬吾 齊藤 利明						

安房郡市広域市町村圏(事)	藤沢市	津久井郡広域(行組)	藤枝市	田方地区(消組)	東海	名古屋(局)	蒲郡市	東近畿	大津市	吉野広域(行組)	吉野広域(行組)																								
白井 春樹	川名 和弘	佐久間 吉宏	成子 吉一	瀨沼 雅人	川勝 隆	穴戸 勇二	石原 英朗	永井 到	山崎 寿文	中山 剛	松野 直樹	村下 健司	湯川 貴晃	清水 俊宏	古屋 誠一	大塚 仁司	小寺 淳也	熊谷 佳和	小石 英次	松井 潤一	成田 弘幸	曾我 和弘	鬼頭 隆	宮原 修	高橋 剛	加藤 慶一	内田 建児	小山内 伸介	山元 裕己	梶浦 省吾	堀口 昌茂	山本 千彰	丸本 千彰	松本 唯嗣	小西 昭彦

陸上の部

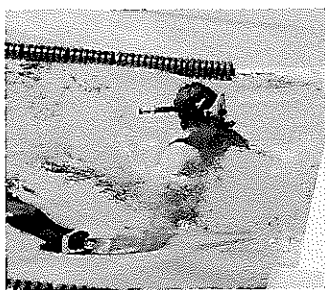
東北	仙 台 市(局)	熊谷 光晴 浅野 丈彦 北浦 康行 大町 正人 園部 哲也 氣仙沼・本吉地域広域(行事)	東海	名古屋 市(局)	中瀬 雅巳 清水 隆義 志水 秀治 浅井 雅和 平下 義尚 伊吹 昭仁 加藤 大輔 太田 憲明 岡田 常博 岡田 敏雄
關東	石 岡 市	中村 守 岡野 勉 波多野 澄夫 鈴木 光宏 山口 剛 鴨井 達也 門馬 武彦 萩原 忠 菊地 宏中 高柳 重幸 原田 正美 斎藤 利弘 菊地 正幸 高柳 禎胤 永倉 勇男 橋本 紀夫 角 光宏 石関 信夫 高橋 幸二 西村 太郎 高橋 匠 岩淵 正利 高野 成彦	東京	京 都 市(局)	内藤 裕之 石川 仁一 大杉 広幸 橋本 裕次 松村 純一 河内 伸介 田保 幸宏 森 豊 林 康彦 野本 真一
川 口 市	桶 川 市	近畿	枚方寝屋川(消組)	野田 繁人 高橋 利昌 山内 崇 清水 忍 上田 晶	野田 繁人 高橋 利昌 山内 崇 清水 忍 上田 晶
市 川 市(局)	横 須 賀 市	中国	岡山 市(局)	曾我部 浩治 野内 誠司 谷口 信次 川幡 卓弘 内本 匡良 福岡 芳通 森 規彰 森野 和直	曾我部 浩治 野内 誠司 谷口 信次 川幡 卓弘 内本 匡良 福岡 芳通 森 規彰 森野 和直



吉本	湯淺	中道	村田	角先	中島	八田	前笠	日笠	川田	平山	伏見	麻生	北川	古川	田中	執行	松下	前田	米森	高附	富谷
誠	定彦	博和	芳樹	宗次	邦彦	道男	和幸	利夫	浩之	義登	忠	康成	英二	淳一	賢博	悟	剛	武史	徹	和文	昌義

水上の部

大	近畿	京	京	大	東	岡	名	東	靜	小	藤	川	浦	川	關	札
阪		都	都	津	東	海	古	海	岡	田	沢	崎	和	口	東	幌
市		市	市	市	市	市	屋	市	市	市	市	市	市	市	市	市
(局)		(局)	(局)				(局)					(局)				(局)
山		井	荒	喜		杉	石		栗	中	辻	遠	比	佐		市
中		上	木	納		江	田		田	山	村	藤	賀	藤		川
隆				伸		直	康		大	康	研	正	基	明		幸
行		武	茂	行		記	二		輔	晴	士	和	弘	芳		典



マスク・フィン・スノーケルを着装して、浮遊障害物を突破しながら水中のリングを検索し、引き上げる。水中での行方不明者の検索を想定した種目。

複合檢索（個人）

水上の部

基本泳法（個人）

「じゅんが飛び込み」及び二種類の基本泳法（抜き手・平泳ぎ）を常に顔が水面に出た状態で行う。水難救助の基本技術。



表彰者……

北海道
札幌市(局)
阿部学
川口市
照井武

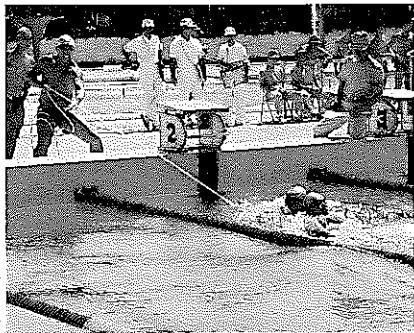
糸	天	有	九州	仁	松	四	海	賀	廣	中	神	守
滿	田	田	地	山	田	國	田	茂	島	國	戶	口
市	草	區	消	淀	市	地	地	廣	市	市	市	市
	消		組	消	局	區	消	域	局	局	局	組
宜	戶	廣		竹	客	井	渡	稻	稻	秋	阿	泰
保	村			田	野	上	迎	追	追	田	部	地
	羊	土		英	裕	通	文	誠		尚	浩	達
馨	土	啓		明	幸	裕	吾			也	二	也

溺者救助（団体）

三人一組(要救助者を含む)で、救助者と補助者の二人が協力して浮環に救助ロープを結着、補助者がプール内に投下、救助者が二十メートル先の要救助者の位置まで搬送、これに要救助者を掴まらせ補助者が救助ロープをけん引救助する。

東	指宿	福岡	九州	室戸	海部	四国	笠島	岡山地	岡山地	中國	神戶	神戶	大阪	大阪	近畿	生駒	大津	東近畿	津	豐橋	東海	長崎	川崎	横浜	東京	浦和
部(消組)	區(消組)	市(局)		市	部(消組)		市(局)	市(局)	市(局)		市(局)	市(局)	市(局)	市(局)		市	市		市	市		市(局)	市(局)	市(局)	市	市
宮城	川下	藤野		片岡	乃一		田川	山崎	高森		岡部	高橋	村田	阪口		橘	山本		高山	中村		宮沢	中沢	越石	吉本	山下
哲也	勝利	文弥		保志	哲也		重信	恒行			豪	伸武	隆史		明治	明伸		宗通	孝博		正史	智元		直弘	友之	

表彰者



北海道	札幌市(局)	井村拓二
東北	仙台市(局)	坪井光久 阿部学
關東	川口市	坪田真一 卓
大宮市	中尾祥一 照井武 佐藤明芳 秋吉勉 大野隆行 富澤朋美 石崎涉	
東京消防庁	堤清利	橋本裕司
東海	岩間太	
高浜市	加藤嘉之 高松利衡	
可	中井康雄	
茂(消事)	山内達己	

溺者搬送(団体)

二人一組（要救助者を含む）で、救助者は「じゅんか飛び込み」後、溺者を注視しながら近づき、逆行の姿勢をとり、「チンプール」への「アーキヤリー」により救助する。

東近畿	京 都	河合 誠
近畿	大 阪	佐藤 正和 佐々木康裕 竹内 義雄
神 戸	神 戸	小野 亨 森 丈志 古井 秀和 高橋 伸武 水野 厚 知野見和之 有田 達洋 田中 利治 岡部 豪
中国	広 島	田川 重信 上岡 忠直 三島 伸夫
四国	讃岐地区広域	谷井 光雄 横岡 明則 安西 一正
九州	水俣芦 北(消組)	松本 光義 佐藤 候武 宮本 健洋 親川 裕司 知名 忍 銘苅 敏雄
浦 添 市		

水上の部

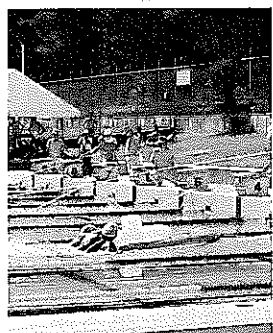


表彰者

北海道 札幌市(局)	関東 東京消防庁	東京消防庁	横浜 横浜市(局)	藤沢 市	逗子 市	東海 名古屋市(局)	岡崎 市	東近畿 大津市	京都 市(局)	近畿 大阪市(局)
野戸良樹 坪井光久	関根大輔 日吉哲也 中野智幸 相澤司	秋山和彦 大城和仁 鈴木茂	岸本守弘 福島英人 今井和彦	近藤忍 南十造 黒田清輝 鈴木若弘	佐山佳克 重盛篤樹 吉村彰二 藤本公	神谷芳之 泉孝浩				

救援物資搬送(団体)

三人一組で、第一泳者は「二重もやい結び」のたすき掛けと腰部への「もやい結び」により、二本のロープを伸張しながら泳ぎ対岸へ到る。第二泳者はサーフライダーに物資の積載を完了後、協力して搬送する。対岸や岩場等の要救助者への救助必要物資の搬送を目的とした種目。



九州 佐賀市	中国 広島市(局)	賀茂広域(行組)	四国 小豆地区	枚方寝屋川(消組)	浅井利美 小嶋成幸 堀田宗孝 荒木大輔
熊本 市(局)	細木真一 三上正行 小林智 渡辺文吾	中野修孝 青地蕉	松本和晃 光富浩二 竹本光宏 本田宏		

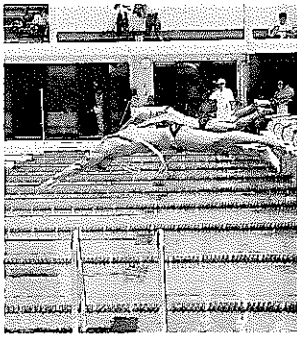
表彰者

東近畿 京都市(局)	東京消防庁	川口市	関東 川口市	中国 呉市(局)	四国 高知市(局)	九州 水俣市(北消組)	人命救助(団体)
山本幸伸 石坂隆則 岩清吉	勝田崇 田澤淳 伏木義和	山本大介 浅田幸則 風間健次 勝田崇	山本大介 浅田幸則 風間健次 勝田崇	下隆俊 小山眞一 澤田信一	井上大輔 永野勲 前田英隆	田口伸二 成松将志 宮崎竜二	四人一組(要救助者を言ひ)で、救助者は「二重もやい結び」のたすき掛けにより溺者の位置に至り、要救助者二人をそれぞれ「チェーンブール」確保し「クロスチェス



表彰者

北海道 札幌市(局)	関東 大宮市	川崎 市(局)	東海 名古屋市(局)	東近畿 京都市(局)	トキヤリ」の体勢で補助者がたぐり寄せるロープを利用して救助する。
山田展大 市川幸典 野戸良樹 井村拓二	大木一美 大久保雅広 遠山賀珠彦 菊池隆彦 中沢啓二 和田啓二 藤江誠 佐野春仁	山田雅也 三岡均 佐橋正樹 田家茂	西田誠 東山誠 竹内義雄 荒木茂		



三人一組で、水中の結索環境に、第一泳者「もやい結び」、第二泳者「巻き結び」、第三泳者「ふた回りふた結び」の三種の指定した結索を行う。水中における結索技術の習得を図った種目。

水中結索(団体)

近畿 大阪市(局) 阪口 隆史
左近 孝浩
枚方寝屋川(消組) 古井 秀和
木村 一也
富山 善夫
浅井 利美
竹本 暢
中国 海田地区(消組) 沖本 博之
丸田 明
品川 隆史
本島 義廣
九州 佐賀 郡(消事) 西村 政彦
古川 達哉
春島 一徳
高柳 剛

表彰者

北海道 函館市 伊藤 忠一
八代 大志
五十嵐 裕晶
関東 東京消防庁 伏木 義和
伊藤 剛之
袴田 信一
中川 博至
小椋 伸一
後藤 康次
江成 幸夫
加瀬 貴志
斎藤 章
相模原市
東京消防庁
東海 小牧市 柄沢 高広
松野 直樹
伊藤 孝雄
安藤 一春
加藤 一明
尾野 貴康
弓坂 則行
重盛 篤樹
北野 充
近畿 大阪市(局) 小野 亨
大海 誠
林 孝司
荒巻 大策
村田 哲
一木 邦彦
谷田 勝
荒木 大輔
岡村 和将
岩藤 衛
佐藤 照男
川原 直樹

インタビュー

九州 佐世保市(局) 坂本 秀樹
松崎 利春
松村 洋一
水俣 芦北(消組) 松本 光義
寺川 忠
楠原 幸男

● 榎橋 たえさん(福岡県)



① 九州地区支部(久留米市) 引揚救助
② 毎日暑いなかの訓練を繰り返しがんばっている姿。
③ これからも救助隊の皆さんの災害現場での活躍を期待します。
④ 初めて大会を見に来たのですが、救助隊の皆さんのがんばっている姿にすごく感動しました。
⑤ 長期間にわたる救助活動、本当に大変だったと思います。ご苦労さまでした。

● 金納 美香さん(福岡県) 田中 美由紀さん(福岡県)

① 九州地区支部(八女市) ロープブリッジ渡過
② 人を助けるために、一生懸命訓練しているところ。
③ 困ったときには、必ず守ってもらえるという安心感。



● 成田 千鶴さん(愛知県)



① 東海地区支部
② ロープブリッジ救出
③ 猛暑のなか、また、冬場の寒さの中においても常に迅速に動き救助に対する平常からの姿勢が立派だと思っています。
④ 緊急時での素早い対応、人命を守るために今後もしっかり努め

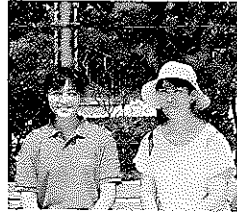
てほしいです。

- ⑤ 本場に暑い中、額から、身体から流れる汗がステキでした。大会で養った力が、日常の出動で活かされる場面が目につきます。

- ⑥ 全国から素早くヘリコプターで駆けつけ、救助活動している場面をテレビで見ても「頑張れ」の気持ちになりました。

今後の対策に全てが教訓として活かされることを強く望みます。

● 松尾 野火さん（左側・福岡県）



- ① 九州地区支部（北九州市）
② ロープブリッジ救出
③ 危険をかえりみず、人命を救助する一生涯懸命さに心をひかれます。

- ④ 迅速且つ確実な救助の中に、人としての心の温かさを忘れない活動を期待します。

- ⑤ 猛暑の中、日頃の訓練の成果を一〇〇％出すべく、一生懸命に取り組み姿に感動するとともに、私たちの日常生活であつてはならない危機に直面した時、きつと私たちの手となり足となってくれるだろうという信頼感が増した大会でした。

- ⑥ 昼夜を問わない救助活動、本当

にお疲れさまでした。テレビの映像を見ているだけでも「もし私の住んでいる地域なら・・・」と危機感が募るばかりでした。救助隊にすべて頼るだけでなく、地域で、家庭で日頃からできる防災、そして、その意識を高め、良き教訓として役立てていくべきだと思います。

● 長尾 直子さん（山口県）



- ① 中国地区支部
② はしご登はん
③ 主人も救助隊員なのですが、自分の身の危険よりも人命の安全のために頑張っている姿に感動します。

- ④ 人命を第一にした迅速で機敏な救助活動。

- ⑤ 今回、初めて救助大会を見に来たのですが、どの種目も出場隊員や関係者の方々が一体となつて頑張っておられるのを見て素晴らしいなと思いました。

- ⑥ 安全な救助活動を行い、二次災害のないように頑張つてほしいと思います。

● 岡崎 一子さん（島根県）



- ① 中国地区支部
② ロープブリッジ渡過
③ 毎日仕事をしながらの訓練が素敵な結果をもたらした、見ていてとてもできることではないと思つています。大会で活躍している姿は、またとても素敵に大きく見えます。

- ④ 自分自身を大切にして、素早い活動ができるよう、普段の訓練を頑張ってもらいたいと思います。

- ⑤ 中国大会は見学に行つたことはありますが、全国大会は初めてで設備などが整っているのびつくりしました。

- ⑥ 消火作業など報道でいろいろと言われたりしましたが、危険な場所での活動、とても大変だと思ひます。

- 井澤 容子さん（福岡県）
吉峯 美枝さん（福岡県）

- ① 九州地区支部（北九州市）
② 斜めブリッジ救助

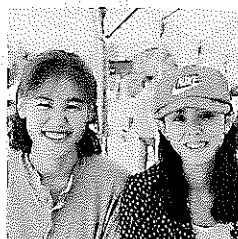
- ③ 危険の中での人命救助という大変な仕事をする姿に心をひかれます。

- ④ 一分一秒でも早い、人命救助を



- ⑤ 期待します。
⑥ 精悍な救助隊員の姿を見て、とても感動し、また一市民として安心感を持ちました。
⑦ 全国各地からたくさんの方の救助隊員が集まり、その救助活動の姿を見て感動し、とても大変な仕事だと思いました。

● 諫元 友希さん（右側・福岡県）



- ① 九州地区支部
② 引揚救助
③ 人命救助のために、毎日汗を流して頑張っているところ。

- ④ これからも人命救助に励んでほしい。

- ⑤ 猛暑の中、全力を尽くして闘っているところが素敵でした。

- ⑥ 危険な所へ人命救助に出動し、とても素晴らしいことだと思ひます。これからも活躍を期待しています。

● 佐藤 正吉さん(左下側・大分県)



① 九州地区支部(竹田広域)

② ほくく救出

③ 毎日の努力・機敏・的確な動作

④ 今まで以上の努力・活躍を期待します。

⑤ 日頃の訓練の様子が、一人一人の災害に対する熱意が伝わってきた。

⑥ 息子が実際に救助活動に参加し、テレビ等で見る以上の苦勞を感じていた。一人一人の責任の重さを痛感しました。

● 村山 正徳さん(東京都)



① 関東地区支部(東京消防庁)

② ほくく救出に出場

③ 高度な救助技術をチームワークで迅速確実に救助する姿勢に心をひかれ、救助隊員になった。

④ 迅速・確実・安全に、災害現場

において相手(要救助者)に対し、苦痛を与えない救助に心がけている。
⑤ 毎年、救助技術の向上が図られている。
⑥ 我々の仲間が、一生懸命救助活動している姿に、自分自身心を打たれた。また、命の尊さを痛感した。

インタビューの項目

- ① この支部の応援ですか？
- ② どの種目に興味がありますか？
- ③ 救助隊員のどのようなところに心をひかれますか？
- ④ 救助隊の何に期待しますか？
- ⑤ 救助大会を見ての感想は？
- ⑥ 阪神・淡路大震災の救助活動等について思うことは何ですか？



大会経過

第一回	東京都 豊島	昭和四十七年九月二八日
第二回	大阪府 扇町 公園	昭和四十八年九月二二日
第三回	横浜市 県立保土ヶ谷公園	昭和四十九年九月一八日
第四回	東京都 平和島 公園	昭和五〇年九月一〇日
第五回	名古屋市 白川公園・瑞穂プール	昭和五一年九月一〇日
第六回	横浜市 消防訓練センター	昭和五二年八月五日
第七回	千葉市 県立防学	昭和五三年八月二日
第八回	大阪市 消防学	昭和五四年八月二四日
第九回	名古屋市 白川公園・瑞穂プール	昭和五五年八月一九日
第一〇回	横浜市 消防訓練センター	昭和五六年八月一九日
第二一回	横浜市 消防訓練センター	昭和五七年八月一九日
第二二回	大阪市 大阪城公園・消防学校	昭和五八年八月一九日
第二三回	名古屋市 白川公園・瑞穂プール	昭和五九年八月二四日
第二四回	広島市 中央公園・県立屋内プール	昭和六〇年八月二二日
第二五回	神戸市 市民防災総合センター・神戸市立マゼール	昭和六一年八月二二日
第二六回	千葉市 県立防学	昭和六二年八月二二日
第二七回	横浜市 消防訓練センター	昭和六三年八月一九日
第二八回	名古屋市 白川公園・瑞穂プール	平成元年八月二五日
第二九回	広島市 中央公園・ファミリープール	平成二年八月二四日
第三〇回	大阪市 消防学	平成三年八月二八日
第三一回	千葉市 県立防学	平成四年八月二八日
第三二回	福岡市 アジア太平洋センター建設用地県立総合プール	平成五年八月二〇日
第三三回	京都市 京都市消防学校	平成六年八月二五日





24th RESCUE MEET 1995



第14号

平成7年9月20日発行

編集 発行 (財) 全国消防協会

〒102 東京都千代田区飯田橋3-11-3

(飯田橋豊国ビル) 電話03(3234)1321(代)